

【科目名】精神障害作業療法治療学		【担当教員】 長谷川 裕							
【授業区分】専門分野（作業療 法治療学）		【授業コード】 4-23-0895-0-1		(メールアドレス) (オフィスアワー) 事前に連絡を下さい。					
【開講時期】3 年次 前期		【選択必修】 必修							
【単位数】1 単位		【コマ数】15 コマ							
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) ・基本的に講義は出席すること。やむをえず欠席・遅刻・早退する場合は、できる限り早く連絡すること。 ・欠席した場合、資料は教科担当者まで取りに来ること。 (受講のルールに関わる情報・予備知識) ・指定図書、参考書は出来る限り読むこと。視聴覚教材は出来る限りグループで視聴すること(借りた場合)。									
【講義概要】 (目的) 統合失調症やうつ病といった精神障害に対して、適切な作業療法が選択できる能力を身に付け、疾病や障害への作業療法効果と作業療法がこれら疾患や障害に及ぼす影響について学修することを目的とする。 (方法) 教科書や配布資料などによって各種精神障害に対する作業療法についての講義を行う。									
【一般教育目標(GIO)】 ・作業療法における主たる精神障害について理解を深める。 ・各疾患に応じた評価法について理解する。 ・【行動目標(SBO)】 ・各疾患の特徴と障害構造を説明できる。 ・各疾患に適した評価方法について説明できる。									
【教科書・リザーブドブック】 ・朝田隆、中島直、堀田英樹『精神疾患の理解と精神科作業療法』第 2 版, 中央法規, 2012 年, ¥3,800 (税別) ・小林夏子編集『標準作業療法学専門分野 精神機能作業療法学』第 2 版, 医学書院, 2014 年, ¥3,800 (税別)									
【参考書】 ・切池信夫著『摂食障害-食べない、食べられない、食べたるとまらない』 医学書院, 2009 年, ¥3,672 (税込) ・牛島定信著 『境界性パーソナリティ障害がよく分かる本』 講談社, 2010 年, ¥1,296 (税込) その他は適宜紹介する。									
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) ・成績評価基準は本学学則規定の G P A 制度に従う。 ・出席 (20%)、期末試験 (80%) の割合で総合的に評価を行う。									
【達成度評価】		試験	小テ スト	レポート	成果 発表	実技	ポートフォ リオ	その他	合計
総合評価割合		80						20	100 点
評	取り込む力・知識	60							60

平成 26～28 年度入学者用

価値指標	思考・推論・創造の力							0
	コラボレーションとリーダーシップ							0
	発表力							0
	学修に取り組む姿勢	20					20	40
<b>【授業日程と内容】</b>								
回数	講義内容	授業の 運営方法	学修課題 (予習・復習)	時間 (分)				
1	オリエンテーション 統合失調症の理解と作業療法 1	講義	教科書の該当する章 を読む	60				
2	統合失調症の理解と作業療法 2	講義	教科書の該当する章 を読む	60				
3	統合失調症の理解と作業療法 3	講義	教科書の該当する章 を読む	60				
4	統合失調症の理解と作業療法 4	講義	教科書の該当する章 を読む	60				
5	双極性障害および関連障害群の理解と作業療法 1	講義	教科書の該当する章 を読む	60				
6	双極性障害および関連障害群の理解と作業療法 2	講義	教科書の該当する章 を読む	60				
7	抑うつ障害群の理解と作業療法 1	講義	教科書の該当する章 を読む	60				
8	不安症群／不安障害群の理解と作業療法 1	講義	教科書の該当する章 を読む	60				
9	強迫症および関連症群／強迫性障害および関連障害群の理解と作業療法 1	講義	教科書の該当する章 を読む	60				
10	食行動障害および摂食障害群の理解と作業療法 1	講義	教科書の該当する章 を読む	60				
11	食行動障害および摂食障害群の理解と作業療法 2	講義	教科書の該当する章 を読む	60				
12	物質関連障害および嗜癖性障害群の理解と作業療法 1(アルコール関連障害群)	講義	教科書の該当する章 を読む	60				
13	物質関連障害および嗜癖性障害群の理解と作業療法 2(物質関連障害群)	講義	教科書の該当する章 を読む	60				
14	パーソナリティ障害群の理解と作業療法 1	講義	教科書の該当する章 を読む	60				
15	パーソナリティ障害群の理解と作業療法 2	講義	教科書の該当する章 を読む	60				

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

平成 26～28 年度入学者用

- ※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の 3 倍)に含むべき時間を示します。
- ※ シラバスの疾患名は DSM-5 に準拠する。教科書は DSM-IV-TR に基づいているので、異なる疾患名があるが内容は同一である。